

「気象研究ノート」在庫案内

「気象研究ノート」の在庫案内をいたします。購入ご希望の方は気象学会事務局まで御一報ください。

第128号(1976年3月)

最近の気象学と気象事業の展望
—気象庁創立百年を記念して—

第129号(1976年9月)

台風特集

第132号(1977年9月)

気候の物理学的基礎と気候のモデリング
(GARP Publication Series No. 16)

序論と一般的勧告
観測された気候変動の特性
気候のモデル化の基本原則
気候モデルの感度、予測可能性の研究
気候モデルに含まれる物理的、化学的、生物学的諸過程
観測計画
浅井富雄 朝倉 正 田中康夫 能登正之 訳

第134号(1978年3月)

数値予報

数値予報の歴史的展望……………岸保勘三郎
基本方程式とエネルギー論……………相原 正彦
積雲対流のパラメタリゼーション…山岸二郎
境界層の取り扱い……………片山 昭
放射による加熱率の差分計算法と
その北半球分布……………久保田 効
客観解析法……………清水 喜允
4次元同化作用とイニシャリゼーション……………住 明正
数値計算上の問題……………木田 秀次・岡村 存
近藤 洋輝・菊地 幸雄
数値予報プロダクトの利用
……………立平 良三・菊地 正武
予報可能性と延長予報……………住 明正
世界のオペレイショナル・モデル
の現状……………吉田 泰治

第135号(1978年9月)

海洋力学

総論……………吉田 耕造
海洋大循環……………高野 健三
海面付近の力学……………鳥羽 良明
海洋における地形性モード波……………梶浦欣二郎

第136号(1979年3月)

融雪・なだれ

融雪機構と熱収支……………小島 賢治
融雪水の流出……………小林 大二
融雪水の積雪内部への滲透……………藤野 和夫
なだれ……………清水 弘

第138号(1980年1月)

梅雨前線帯の豪雨

極東における梅雨前線帯
……………二宮 洸三・秋山 孝子
大雨を伴う梅雨前線帯の構造……………吉住 禎夫
梅雨前線帯の中間規模擾乱
の構造……………吉住 禎夫・二宮 洸三
梅雨前線に及ぼす積雲対流の影響(数値予報
モデルによる実験)……………二宮 洸三
豪雨の水収支……………二宮 洸三・秋山 孝子
梅雨前線帯の下層ジェット
とレインバンド……………二宮 洸三
大規模低気圧ともなう豪雨……………二宮 洸三
中間規模擾乱に伴う降雨の
微細構造……………秋山 孝子・二宮 洸三
豪雨の中規模の様相……………二宮 洸三
積雲対流と豪雨……………二宮 洸三・山崎 孝治
日本の豪雨の気候学的特性
と地形性降雨……………二宮 洸三・榊原 均

第144号(1982年3月)

気象の遠隔測定(I)

大型レーダーによる中層大気の観測
……………加藤 進・福山 薫・若杉耕一郎
佐藤 享・深尾昌一郎
マイクロ波によるリモートセンシング
……………青木 忠生

合成開口レーダ……………小平 信彦
音波電波を利用した晴天大気のリ
モートセンシング……………福島 圓

第146号(1983年2月)

エアロゾル特集
一応用編一

……………池辺 幸正・鈴木 国弘
佐藤 公喜・遠藤 辰雄・森田 恭弘
児島 紘・村井 潔三・岩坂 泰信

第147号(1983年3月)

日本とその周辺の高気候復元

第148号(1983年5月)

気象の遠隔測定(Ⅱ)

静止気象衛星の画像データによる
気象要素の抽出……………加藤 一靖
赤外放射を利用した気象要素の遠
隔測定……………嘉納 宗靖・宮内 正厚
ライダー観測による気象要素の測
定……………内藤 恵吉

第149号(1984年6月)

モンスーンをめぐる諸問題

……………住 明正・村上多喜雄

第150号(1984年8月)

最近の予報

確率予報……………立平 良三・保科 正男
量的予報: 気温……………三瓶 次郎
量的予報: 風……………野本 真一

週間天気予報

……………斎藤 勉・小林 典謙・矢花 慎雄

第154号(1986年7月)

雷特集

1. 雷の電気……………高橋 劭
2. 雷の放電……………竹内 利雄
3. 雷災防止……………河村 達雄, 井上 敦之
西上 収三, 古賀 広昭
室岡 義広, 北川信一郎

第156号(1987年5月)

ロスビー波

1. ロスビー波の系譜……………廣田 勇
2. Rossby 波の反射と透過……………山田 道夫
3. 二次元定常ロスビー波の線形論
……………林 祥介
4. 非線形ロスビー波……………福田 久・山形 俊男
5. Over-reflection……………高野 清治
6. 大気中のプラネタリー・ロスビ
ー波……………廣岡 俊彦

第157号(1987年8月)

気候変動国際協同研究計画—WCRP—

(岩嶋樹也・辻村 豊・山元龍三郎訳)

1. 序 論
2. WCRP の三目標
3. 気候システムにおける熱と水の交換
4. 海洋と大気の結果

第159号(1987年10月)

近年における世界の気候変動の特徴

……………田中 実

第161号(1988年2月)

気象予測の検証と評価……………菊地原英和

- 1 序論
- 2 量的予測の検証と評価及び一般的注意事項
- 3 2カテゴリ予測の検証と評価
- 4 多カテゴリ予測の検証と評価
- 5 確率予測の検証と評価
- 6 経済価値から見た予測の検証と評価

第162号(1988年7月)

日本における気候影響・利用研究の課題

……………吉野 正敏, 田宮 兵衛, 安田 喜憲
中川 慎治, 内嶋善兵衛, 岩切 敏
桜台 哲夫, 嶋田 福也, 須山 哲男
高畑 滋, 植村 滋, 桐谷 圭治
川崎 健, 酒井 俊二, 高橋 裕
河村 武, 中島暢太郎, 小元 敬男

- 1 気候影響利用研究の諸問題
- 2 農林業に及ぼす気候変化・気候変動の影響
- 3 人間社会・諸産業・水資源などと気候変化